

北日本マルチメディア放送株式会社
第3回 番組審議会議事録

1. 開催日時 2018年11月16日(金) 12:30 ~ 13:00
2. 開催場所 パレスへいあん 会議室
3. 委員の出席 委員総数5名
出席委員5名(全員出席)
委員長・大井 祐、小野寺 宣克、鹿又 久孝、今野 順子、中山 智之
会社側の出席者(2名)
代表取締役社長・剣持文仁、ほか
4. 議 題
(1) 事務局報告
(2) 番組合評
5. 議事概要
V-Low マルチメディア放送全体の概要と、5月1日に放送を開始してからこれまでの状況を説明し、放送番組『うちゅうとみやぎ』について審議していただいた。
6. 審議内容
(1) 事務局報告
事務局より開局から現在迄の状況を説明・報告した。
 - ・ V-Low マルチメディア放送の概要説明
 - ・ 受信機の普及状況
 - ・ IP サイマル放送による補完
 - ・ V-ALERT の概要と喜多方市の状況
 - ・ 札幌開局の予定
- (2) 番組合評
番組概要 『うちゅうとみやぎ』
毎週水曜日 12時30分~12時55分放送
パーソナリティ：宇宙まお(シンガー・ソングライター)
(エフエム仙台サイマルチャンネルより)

番組合評として委員より以下の意見があった。

- * 宇宙まおさんの人となりだと思うが、非常に人の話をよく聞き、放送に乗りやすい話し方、声の出し方で、言葉もきちんと伝わった。かといって力みもなく非常に自然体でよく内容が分かる番組だったと思う。
- * 何か批判材料を探そうと思ったが残念ながら見当たらなかった。進行が非常に上手で話の内容が分かりやすく、特に現地取材の情景描写が非常にうまく臨場感が伝わった。
- * 現代は何でもインターネットで検索して行った気になっていることがあるが、現場でこそ分かる話、雰囲気や話し方を伝える素敵ないい番組だと思った。

- * 単なるインタビュアーではなく、会話をしながら相手の話を聞き出しこちらが非常に安心して聞ける話の持っていく方をしていると感じた。
- * 仙台生まれでも仙台育ちでもない彼女の新鮮な発見や、仙台のいいところを探して紹介しようという考えが伝わる番組で良い印象を受けた。ゆったりしているけれども的確な表現で、シンガー・ソングライターの言葉の選び方は上手だと感じた。
- * パーソナリティには外から来て外の情報も時々披露しながら、東北、宮城とのコミュニケーションを行うアンバサダーとしての役割も務めてもらえることを期待する。基本的には、娯楽番組と一言で評せない教養的なものも含まれているし報道的なものもある、非常に優れた番組だと感じた。
- * 他の番組で時々在仙の人は当然分かっているものだという前提で話が進んでいき強引だと感じることもあるが、彼女の場合は全く地元を知らない人が非常に地元に対する愛を持って聞いている感じがした。その内容に関しては、ほかの委員が言うようにもっと詰めていかなければいけないと思うが、非常に好意的な感じがありとてもいい番組だと思った。
- * 地元に着してそれぞれ紹介をしていく場合、地域の歴史・伝統を限られた時間の中に織り込むことは非常に難しいと思うが、その地域の歴史背景をもう少し紹介してもらえると地域のことをもっと理解できるのではないかと感じた。
- * 宮城の人が宮城を紹介するのか、宮城出身ではない人が宮城を紹介するのかという話で、地域のいろいろなブランディングは、外の人と地元の人が、外から見た目と中から見た目で一緒に創っていかないといいブランドがなかなかできていかないという部分で同じ匂いを感じた。
- * 取材先で1曲歌うコーナーが素晴らしく、生の声、弾き語りのよさが伝えられていたと思う。
- * 放送時間帯が平日の昼ということもあり、恐らく少し年代の高い人も聞くことがあると思うが、その人たちも違和感なく入っていける番組だと感じた。
- * 本人の曲は30代のシンガー・ソングライターが日常で生まれるさまざまな感情を歌に乗せているということで年代を感じる部分があった。
- * 地域密着番組で起用するパーソナリティやミュージシャンにこのようにやってもらいたいという『コンセプトの違い』があるのかということが少し気になった。単なる宇宙まおさんの宣伝番組にならない工夫が求められると思う。

※ 事務局では今後の番組内容向上の参考とするため上記審議内容を関係者に回覧した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

「該当なし」

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合

インターネットのホームページに掲載（ <http://www.i-dio.jp/> ）
記載文書の本社備え置き